



第8回 「西洋絵画に込められたメッセージを読む」

日時	2024年10月26日（土） 14時00分～15時30分
講師	竹本 芽依 東京理科大学 教養教育研究院 神楽坂キャンパス教養部 助教
講義概要	<p>「西洋美術史の研究をしています」と言うと、「どのような絵を描いているのですか？」と質問されることがあります。たしかに美術と聞くと、一般的には作る方のイメージが強いかもしれません。</p> <p>美術史は、作品を創り出すのではなく、すでに生み出された絵画や彫刻等と向き合い、社会や人間について考察を深める学問です。作品を観ることに、得意・不得意の垣根はありません。美術鑑賞は、誰に対しても開かれている愉しみのひとつです。</p> <p>とはいえ、実際に作品の魅力を十分に享受するためには、観るべきポイントやコツのようなものがあります。この講義では、西洋絵画をいくつか取り上げながら、その表現の面白さを味わうと同時に、作品に込められたメッセージについて一緒に考えてみたいと思います。</p>
参考図書	高階秀爾，三浦篤(編)『西洋美術史ハンドブック』新書館，1997年。 ジェイムス・ホール(著)，高階秀爾(日本語版監修)『西洋美術解説事典：絵画・彫刻における主題と象徴』河出書房新社，2021年。